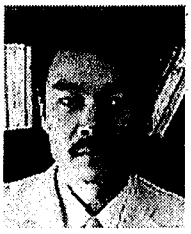
検証 公共事業をめぐる逆風世論

寄稿

～道路関連報道に見る基本的国家了解の溶解～

VOL.3



藤井 聡（ふじい さとし）
京都大学大学院工学研究科都市社会工学専攻教授

基本的国家了解と怨恨

ただし、この話しの顛末は、道路行政に対する人々の態度を暗示しているだけに留まるものではないように思う。それは、多くの人々が「国家の決定」や「国民と国家の関係」なるものについての基本的な意味を了解していない、ということをさらに暗示しているように思える。

個人的な事で恐縮であるが、筆者はものごころが付いたころには既に、国家というものを何かしら「畏れ多いもの」として認識していたように思う。この感覚は、しばしば「お上意識」とも呼ばれているものであるとは思うが、いわゆるサヨク的な気分に大いに支配され、国家というものに対して相当に否定的な態度を持っていた学生の頃であってすら、筆者はそういう感覚をぬぐえずに抱いていたように思う。もう少し正確に言うのなら、筆者は世の中には「畏れ多いもの」なるものがあり、その一つに「国家」があげられると感じていたように思う。

ただし、国家は（少々形容矛盾であるが）単に畏れ多いだけのものではなかった。自身の国家は、言うまでもなく「よその国」のようなよそよそしいものなのでは決してなく、自身と繋がるものであり、かつ、それ故にその振る舞いに自身が影響を受けると共に自身の振る舞いにも僅かなりとも影響を受け得るものと感じていたように思う。この感覚は、先の「お上意識」とは少々異なり、むしろその逆に「自らがお上に立つ」ことを想定した感覚であると言えるようにも思う。いずれにしても、この感覚は、おそらくは先に述べた「畏れ多い」という感覚よりも後の発達段階にて筆者の中に明確化していったものであろうかとは思うものの、それでもやはり、ものごころが付いたころには、その感覚の萌芽は十分にあったように思う。

つまり、筆者がものごころが付いた時には既に、好むと好まざるとに関わらず、畏れ多いものであると同時に、自身のあり方に決定的な影響を及ぼしつつも自身の振る舞いにも依存しているものとして、国家を了解していたのである。

無論、こうした筆者の個人的な「国家了解」がどういう代物であるのかを評価する能力を筆者は持たないが、それは何も特殊な感覚ではなく、それなりに社会的、歴史的に共有された感覚であったように思う。いずれにしても、もし仮に国家と国民の在るべき関係なるものがあり、その基本的な意味についての了解を〈基本的国家了解〉と呼ぶとするなら、この〈基本的国家了解〉こそが、先の人物、ひいては昨今の多くの人々において希薄、あるいは、欠落しているのではないかと思えるのである。

もしもこうした〈基本的国家了解〉がなければ、国家などは単に、サービスを提供してくれるものに過ぎず、そのサービスを購入するために致し方なくカネを（税金として）払い込んでいるという機関にしか思えなくなるであろう。そして、そのようなサービス機関に「カネを支払ってやっている」にも関わらず、そのカネを「勝手に無駄としか思えないような事業に年間何兆円もつぎ込んでいる」とするなら、大きな不満を感ずることとなろう。そして、その不満を訳の分からぬ国家権力等というもののために解消できない気配があるとするのなら、その不満はやがて「怨恨」（ルサンチマン）へと繋がることとなろう。ここでもし、この怨恨的気分を抱いているのが周りを見回して自身一人だけであるのなら、その人物は愛想笑いでも浮かべながら我慢せざるを得ないところであるが、周りに似たような怨恨的気分を抱いている人々が少なからずいることに気づけば、ましてや、何百万人、何千万人が同時に視聴しているであろう報道番組の中で同様の怨恨的気分が吐露されているのを見れば、ここぞとばかりにこの怨恨的気分の憂さ晴らし、うっぷん晴らしに走ることとなろう。先に紹介した話しにおいてその登場人物が筆者に問いかけたのも、おそらくは、こうした構図があったからではないかと思う（事実、先の人物は、自らの正当性を主張する文脈の中で、「私みたいに感じているのは私一人ではない、あなた以外のほとんど全ての人がそう感じているのだ」なる趣旨を恫喝的とも言える語調で主張していたのは非常に印象深いものであった）。

（つづく）

縦フレームの見付を無くし、透明感のあるデザインを形成する。FIX窓と可動窓の外りとした意匠となっている。また、断熱性能の高い中間空気層12㎜の複層ガラスへの対応も可能放できる。

10年度の売上目標に7000万円を掲げている。

ートポンプ式の電気給湯機「エコキュート」や、IHクッキングヒーター、蓄熱式電気暖房器ジ体験やスーパーボールのつかみ取りによる「さくらたまご」プレゼント、ハッピーくじといっ

平成21年９月７日　建設工業新聞掲載

ングとつな

デッキ仕様の

アルミは、エ
ブランド・ミ
「M・フレ
ッキ仕様など
リビングとつ
る広い空間を
る。
優れた人工木
み合わせたデ
、リビングを
うな空間を演
を採り入れる
ことで木のぬくもりが表
れ、くつろぎのスペース
として活用できる。
外からの出入りをスム